

# コンブ養殖による藻場の創出・保全活動

## 「北海道ふくしま町“青×蒼”プロジェクト」

申請者：福島吉岡漁業協同組合、福島町



### プロジェクトの概要

- 福島町は、北海道の渡島半島西南に位置し、北には道南の秀峰大千軒岳がそびえ、南は紺碧の津軽海峡に面した町です。年間を通じて道内でも比較的温暖な気候に恵まれている、漁業と水産加工業の町です。
- 高い透明度を誇る福島町の“青”い海と、海藻が生い茂る様子を“蒼”に見立て、養殖コンブや天然海藻で海の緑化を目指すことをプロジェクト名に掲げております。
- 環境変化が漁業活動に影響を及ぼし始めた1970年頃より、漁業者が主体となりコンブ養殖を開始し、持続可能な「つくり育てる漁業」への転換を図りました。
- 近年は、高水温化や漁業者の高齢化、後継者不足により、地域産業としての存続が危機的になっております。
- コンブ養殖による気候変動緩和策への貢献に向けて、「養殖コンブの生産量の維持・増大」が重要であることから、漁協、漁業者、町が一丸となり持続的なコンブ養殖業を目指した活動を行うほか、養殖活動による具体的なCO2吸収量の算出などにも取り組んでいます。



### プロジェクトの特徴・PRポイント

- ◆プロジェクトの範囲には、**合計200km以上の養殖ロープ**が設置されております。※R5調査結果
- ◇今回の申請では**合計369.9t-CO2**がクレジット認証されました(R5～R1合計)。
- ◆「**地域産業**」や「**日本の食文化**」の維持と「**脱炭素社会**」への貢献の両立を目指した取り組みです。
- ◇その他、「お魚殖やす植樹活動」や「ウニの移殖による天然藻場の確保」など豊かな海を目指した活動や次世代につなぐ「漁業学習」など、地域での取り組みも積極的に実施しております。
- ◆取得したクレジットは、養殖昆布の生産量維持・増大に向けた**種苗生産事業**などに活用し、活動の活発化を図っていきます。

